

<「知るっば！久留米」 令和4年2月3日（木） 12：30～放送分>

三漕地域の魅力 ～第1回～ 「三漕ってどんなところ？」

<ゲスト：久留米創業ロケット 創業支援相談員 北村嘉伸さん>

坂本 MC（以下「坂本」）

「知るっば久留米」ナビゲーターの坂本豊信です！

今月は、久留米市の南西部に位置する『三漕地域の魅力』をテーマにお送りします。

ゲストはこの方です。

ゲスト：北村さん(以下「北村」)

こんにちは！生まれも育ちも、そして今も住み続けている三漕地域のことならおまかせの

北村嘉伸です。よろしくお願いします。

坂本 1回目の今回は、『三漕ってどんなところ？』というテーマでお送りします。

北村さんは元三漕町役場にお勤めで、広報担当でいらっしゃいました。

私が若いころと一緒に仕事をさせて頂いて、相談しあったり、時には遊んだりした仲間なので、今日はリラックスしてお届けしたいと思います。

ずっと三漕にお住まいということで、今日はリアルな声を伺っていきます。

まずは、三漕地域はどんな場所でしょうか？

北村 旧三漕郡三漕町の地域で、犬塚、三漕、西牟田の3校区エリアで構成されていて、

東部から南西部は筑後市と大木町に隣接しています。

面積は16.1平方キロメートル、人口は2021年12月の住民基本台帳で17,700人ほどで、2005年2月の久留米市との合併時に比べて2,000人ほど増加しています。

地形は、東部の西牟田地域に標高30mほど丘陵地があるほかは、標高5mから8m前後の平坦な地形が広がっています。

坂本 今の時代、人口が増加しているというのはすごいですね。

緑が豊かに広がる地域で、おそらく皆さん農業が盛んというイメージがあると思いますが、住み心地もいいということなんですか？

北村 そうですね、これは住んでみないと分からない良さかもしれませんね。

三漕地域は南北に市内中心部から柳川市に通じる県道と西鉄天神大牟田線が通っています。

地域中央部の県道沿いには、スーパーやドラッグストア、コンビニ、病院、飲食店が点在しています。

また、西鉄の2つの駅周辺には、総合支所、総合体育館、水沼の里2000年記念の森公園など、三漕地域を代表する施設が集まっているので、住環境や交通の利便性がとても良くなりました。

農村としての昭和の時代と比べて、とても住みやすい地域になったと思いますよ。
私が子どものころには全く想像できないような景観になってきましたね。

坂本 まちは移り変わるといいでしょうか、まちの中心部に必要な施設やお店がぎゅっと集まった、コンパクトな町、コンパクトシティというのでしょうか。
自転車や徒歩でも回ることができて、とても利用しやすいような感じがします。

北村 そうですね、私自身も実感しています。
また、住宅地は静かで、周りは公園や田園の緑が多くありますし、
各小学校区には保育園もありますので、子育て環境も充実していると思いますよ。
公園をはじめ、総合体育館や福祉センターも多くの方々が利用されているようです。
それから、西牟田エリアですが、丘陵地帯には十連寺公園から6面のため池を繋ぐ遊歩道が
整備されていますし、JR 西牟田駅にも近いので、住環境の良さから宅地開発が進んできました。

坂本 西鉄大牟田線に加えてJR鹿児島本線も利用できる。
農業が盛んな過疎地域という印象ではなくて、とても住みやすいこれからも発展が期待できる、
そんな地域なんですね。

北村 実際、三潴校区では、ここ数年で三潴駅から三潴小学校周辺の宅地開発が進み、
校区内の人口が数百人も増えたので、小学校の教室が足りなくなって増設したそうです。
子供の数が増えると地域も賑やかになるので、元から住んでいた人にも歓迎されています。
一方で、若い世帯が多くなり、まちづくりへの参加がこれからの課題になっています。
新旧住民の交流と親睦を図るために、いろんな行事が行われていましたが、
新型コロナウイルスの影響で中止や縮小が相次いでいるようです。
コロナウイルスの収束を願い、お祭りなどの地域行事が早く開催できるといいなと思っています。

坂本 コロナということで、いろんな行事がなかなかやりにくくなっていますが、
そういった中で子育て世代が増えるというのは、将来への希望が生まれているということなので、
これからの地域を支える若い人達に、大いに地域を盛り上げてほしいですね。
その他にはどんな魅力がありますか？

北村 三潴地域は市中心部や柳川市にも近く、また筑後市、佐賀市にも近いので、
移動が便利という点です。
車を利用すると、市役所まで約20分、佐賀市の中心部へは30分ほどで移動できます。
鉄道の場合は、西鉄天神大牟田線の三潴駅、犬塚駅は普通電車しか停車しませんが、
すぐそばの大善寺駅には特急電車が停まるので、久留米駅まで約15分、
福岡天神駅へ45分ほどで行けます。
また、JR西牟田駅からは久留米駅まで約10分で行けますし、荒木駅で快速に乗り換えれば、
こちら博多駅まで55分ほどで行くことができます。

私も時々利用するんですが、荒木駅からスムーズに福岡の方に行くことができますね。
通勤・通学にはとても便利だと思いますし、定住人口も増えていることから、
三潁地域の魅力になっているのではないかと思いますよ。

坂本 なんとなく不動産会社の営業みたいなトークになってきましたが(笑)。
道路も鉄道も利便性が高いということで、久留米市街地と三潁地域は意外と近いんですね。
佐賀にも案外近いというのがよくわかりました。
これも住んでみないとなかなかわからないことかもしれません。
ちなみに、お子さんたちが過ごす環境としてはどうですか？

北村 犬塚駅の近くにある三潁子育て支援センターは、犬塚保育園の中に設置されているので、
保護者がすぐに利用できます。
三潁、西牟田校区の保育園も、エリア中央部にあるので送迎なども便利です。
そして、三潁小中学校の周りは、子供たちが安全に安心して通学できるような通学路の整備も
進んでいます。
基本的に平坦な地域で坂道や階段も少ないので、子育て環境はもちろん、
高齢者にも優しい地域だと思います。

坂本 毎日の暮らしにおいては、地味でもこういった利便性は一番大事なことですよね。
住んでみたいという人は、これからも増えていきそうですね。
住んで初めてわかるような魅力をたくさん伺いました。北村さん、ありがとうございました。
次回は「三潁地域の産業」をテーマにお送りします。
お楽しみに！